

2025 中野区区民意識・実態調査

＜概要版＞

調査の概要

【調査の項目】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1 定住意向について | 15 公園・広場等の利用について |
| 2 生活環境について | 16 区のサービスの電子化について |
| 3 中野区への愛着度、中野区の魅力について | 17 地震災害への対策について |
| 4 区政情報の入手、区政参加について | 18 環境に関する理解・関心について |
| 5 文化芸術活動について | 19 人権・男女共同参画について |
| 6 健康増進のための運動習慣について | 20 ユニバーサルデザインについて |
| 7 多文化共生について | 21 パートナーシップ宣誓について |
| 8 社会や地域との関わりについて | 22 子どもの権利について |
| 9 生涯学習について | 23 次世代に渡る定住意向について |
| 10 区立施設の貸出利用について | 24 基本構想について |
| 11 自転車について | 25 中野区のまちの姿について |
| 12 中野駅周辺について | 26 SDGsについて |
| 13 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について | 27 施策への評価・要望について |
| 14 商店街について | |

【調査対象】 18歳以上の中野区民

【標本数】 2,000人

【有効回収数】 1,105人（55.3%）

【抽出方法】 無作為抽出法

【調査方法】 郵送配布、郵送回収・インターネット回答併用

【調査期間】 令和7年8月26日（火）～令和7年9月19日（金）

結果の見方

- （1）（複数回答）、（3つまで回答）等と記述されたもの以外は、選択肢を1つだけ選ぶ設問である。
- （2）集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。
- （3）回答の比率（%）は、その設問の対象の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべて比率を合計すると100%を超えることがある。
- （4）グラフに表記されている「n＝＊」（＊は数字）は、対象の回答者数を表している。
- （5）グラフに表記されている（ ）内の数字は2024年調査の対象の回答者数及び回答の比率を表している。

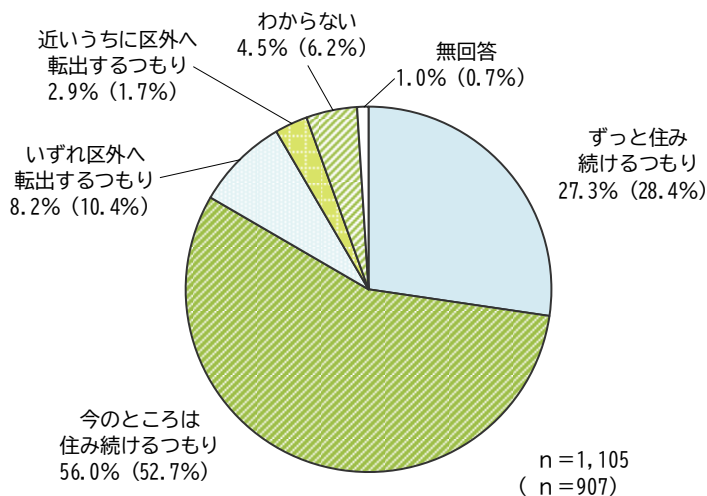
2026年（令和8年）1月

中野区

1 定住意向について

(1) 区内定住意向

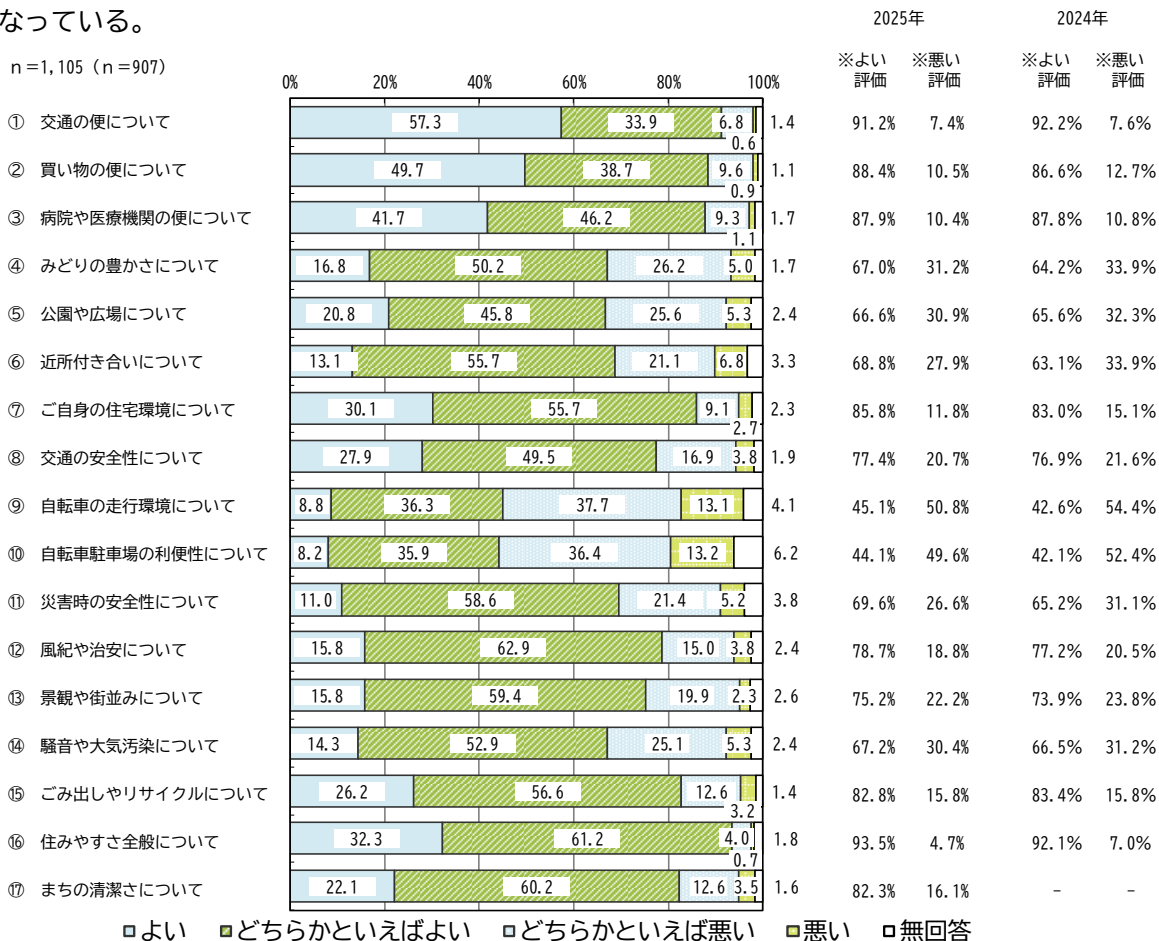
定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けるつもり」(27.3%)と「今のところは住み続けるつもり」(56.0%)を合わせた《定住意向あり》(83.3%)は8割前半となっている。一方、「いずれ区外へ転出するつもり」(8.2%)と「近いうちに区外へ転出するつもり」(2.9%)を合わせた《転出意向あり》(11.1%)は約1割となっている。



2 生活環境について

(1) 生活環境の評価

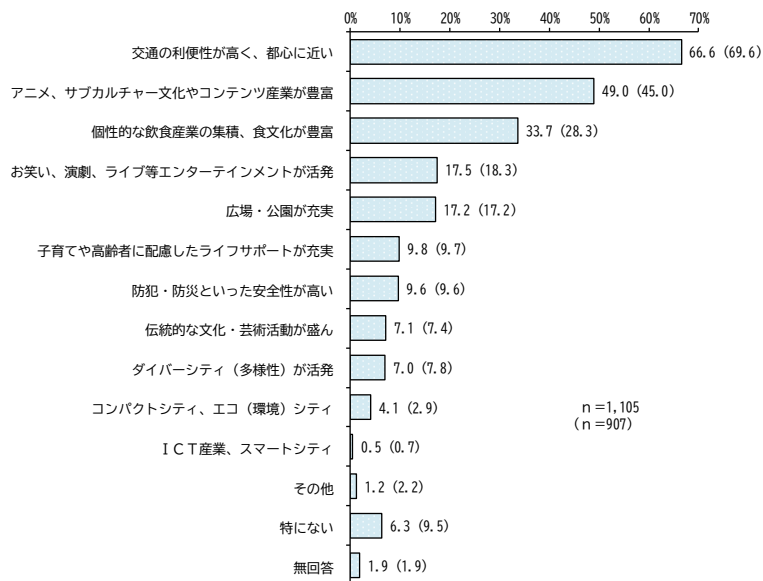
自宅周辺の生活環境についてどのように感じるか17項目にわたり聞いたところ、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた《よい評価》は「⑯住みやすさ全般について」(93.5%)が9割前半で最も高く、次いで「①交通の便について」(91.2%)、「②買い物の便について」(88.4%)となっている。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた《悪い評価》は「⑨自転車の走行環境について」(50.8%)が約5割で最も高く、次いで「⑩自転車駐車場の利便性について」(49.6%)、「④みどりの豊かさについて」(31.2%)となっている。



3 中野区への愛着度、中野区の魅力について

(1) 中野区の魅力（ブランドイメージ）

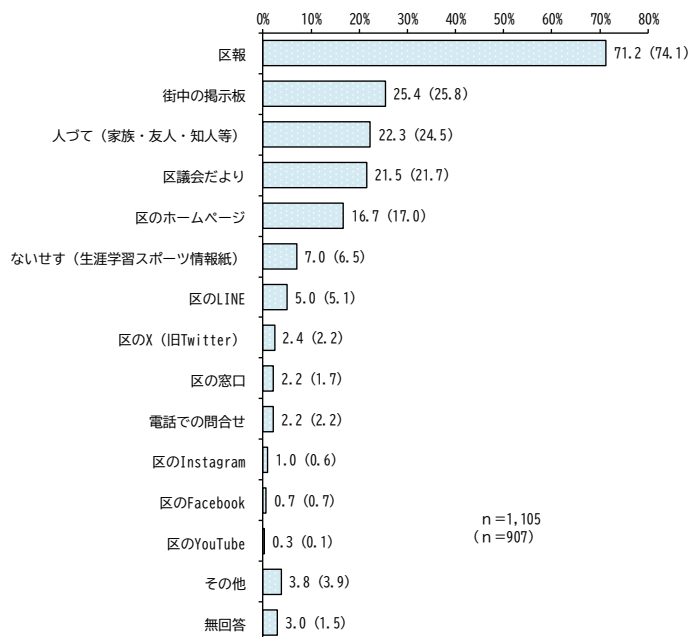
中野区の街の魅力（ブランドイメージ）（複数回答）を聞いたところ、「交通の利便性が高く、都心に近い」（66.6%）が6割半ばで最も高く、次いで「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」（49.0%）、「個性的な飲食産業の集積、食文化が豊富」（33.7%）、「お笑い、演劇、ライブ等エンターテインメントが活発」（17.5%）となっている。



4 区政情報の入手、区政参加について

(1) 区政情報の入手方法

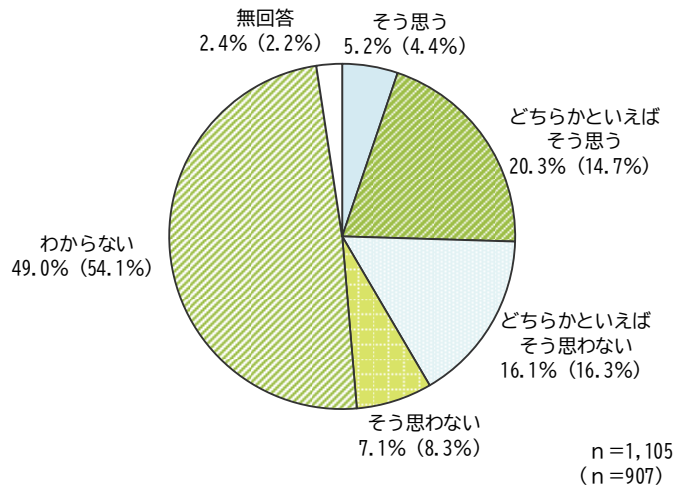
中野区の区政情報の入手方法（複数回答）を聞いたところ、「区報」（71.2%）が約7割で最も高く、次いで「街中の掲示板」（25.4%）、「人づて（家族・友人・知人等）」（22.3%）、「区議会だより」（21.5%）となっている。



5 文化芸術活動について

(1) 子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会

子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会は十分にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.2%)と「どちらかといえばそう思う」(20.3%)を合わせた《十分にあると思う》(25.5%)は2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(16.1%)と「そう思わない」(7.1%)を合わせた《十分にあると思わない》(23.2%)は2割前半となっている。

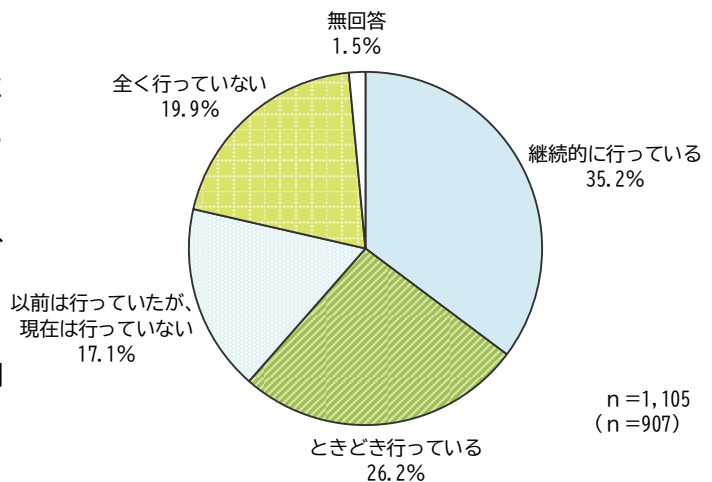


6 健康増進のための運動習慣について

*2025年調査からの設問

(1) 運動や身体活動の頻度

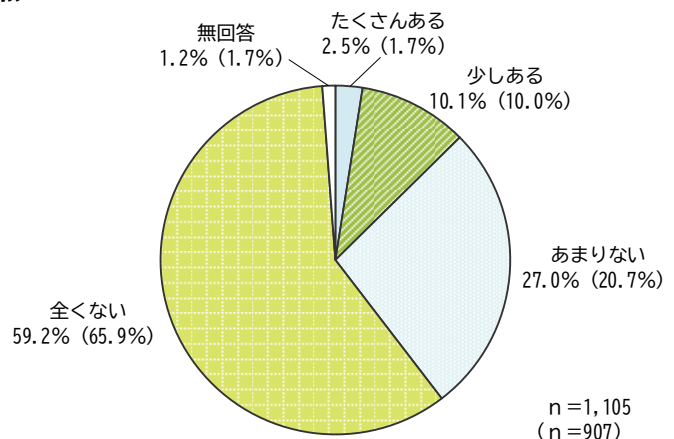
1回30分以上の連続した運動を週1~2回以上行っているか聞いたところ、「継続的に行っている」(35.2%)と「ときどき行っている」(26.2%)を合わせた《行っている》(61.4%)は約6割となっている。一方、「以前は行っていたが、現在は行っていない」(17.1%)と「全く行っていない」(19.9%)を合わせた《行っていない》(37.0%)は3割後半となっている。



7 多文化共生について

(1) 地域に暮らす外国人と交流する機会の有無

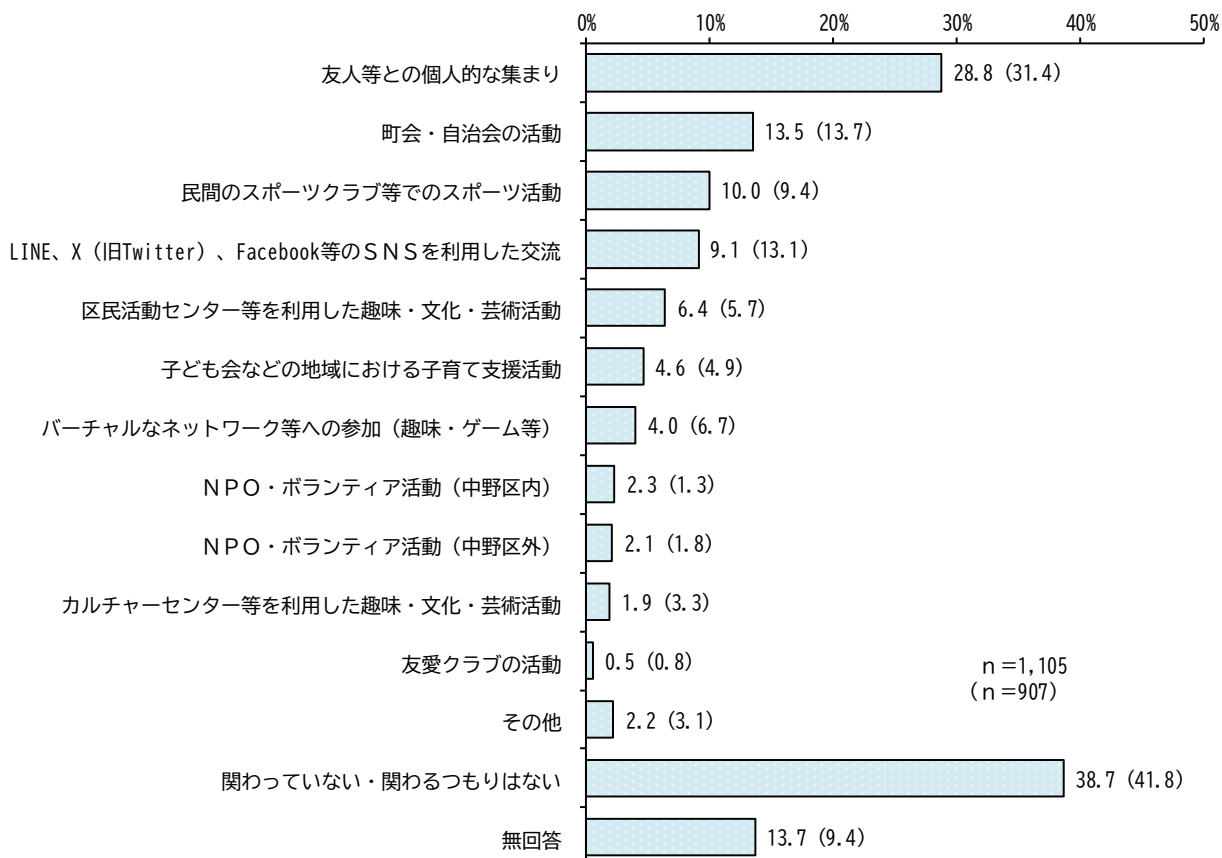
地域に暮らす外国人と交流する機会の有無を聞いたところ、「たくさんある」(2.5%)と「少しある」(10.1%)を合わせた《機会がある》(12.6%)は1割前半、「あまりない」(27.0%)と「全くない」(59.2%)を合わせた《機会がない》(86.2%)は8割半ばとなっている。



8 社会や地域との関わりについて

(1) 最近1年間に参加した地域活動

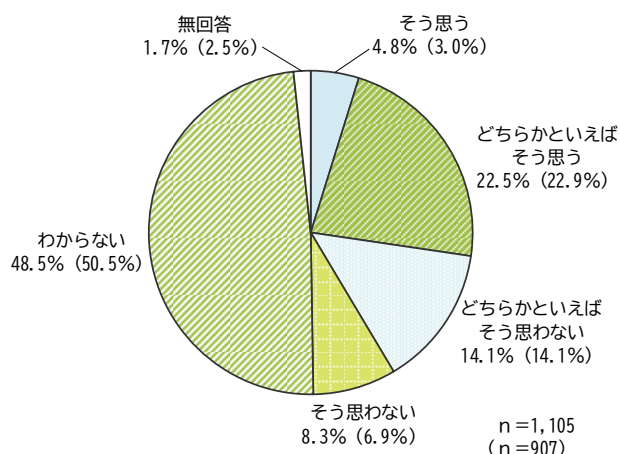
社会や地域との関わり（就労以外）として、最近1年間に参加した活動（複数回答）を聞いたところ、「友人等との個人的な集まり」（28.8%）が2割後半で最も高く、次いで「町会・自治会の活動」（13.5%）、「民間のスポーツクラブ等でのスポーツ活動」（10.0%）となっている。一方、「関わっていない・関わるつもりはない」（38.7%）は3割後半となっている。



9 生涯学習について

(1) 生涯学習の機会の充実度

生涯学習の機会が充実していると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.8%)と「どちらかといえばそう思う」(22.5%)を合わせた《そう思う》(27.3%)は2割後半となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(14.1%)と「そう思わない」(8.3%)を合わせた《そう思わない》(22.4%)は2割前半となっている。



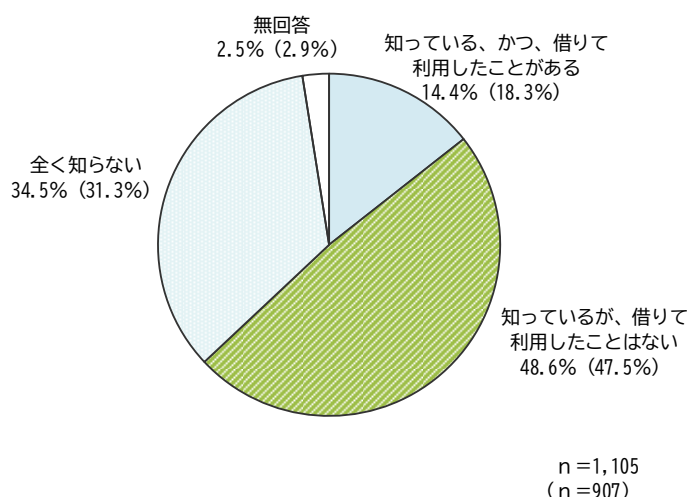
10 区立施設の貸出利用について

(1) 区立施設の貸出利用

①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）

区立施設の貸出利用について聞いたところ、〔①文化・スポーツ施設等（施設予約システム導入施設）〕では、「知っているが、借りて利用したことはない」(48.6%)が4割後半で最も高く、次いで「全く知らない」(34.5%)、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」(14.4%)となっている。

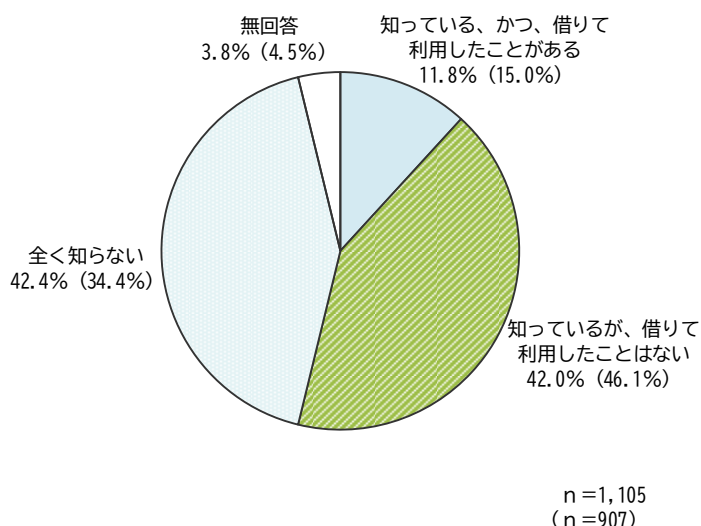
「知っている、かつ、借りて利用したことがある」と「知っているが、借りて利用したことはない」を合わせた《知っている》(63.0%)は6割前半となっている。



②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）

区立施設の貸出利用について聞いたところ、〔②区民活動センター集会室等（施設予約システム未導入施設）〕では、「全く知らない」(42.4%)が4割前半で最も高く、次いで「知っているが、借りて利用したことはない」(42.0%)、「知っている、かつ、借りて利用したことがある」(11.8%)となっている。

「知っている、かつ、借りて利用したことがある」と「知っているが、借りて利用したことはない」を合わせた《知っている》(53.8%)は5割前半となっている。

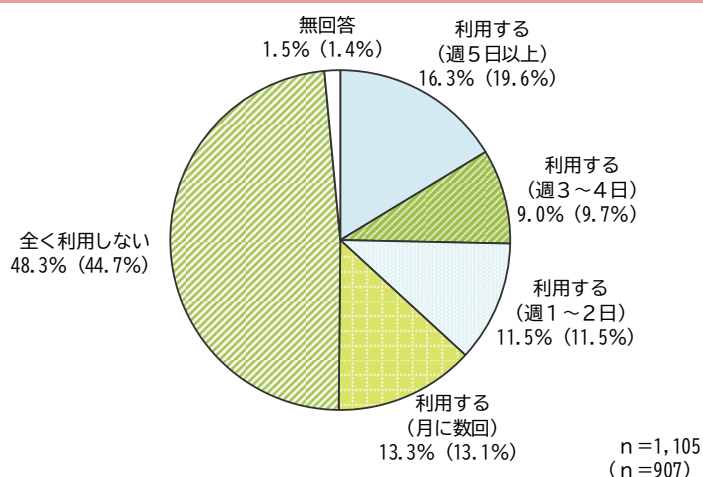


11 自転車について

(1) 自転車の利用頻度

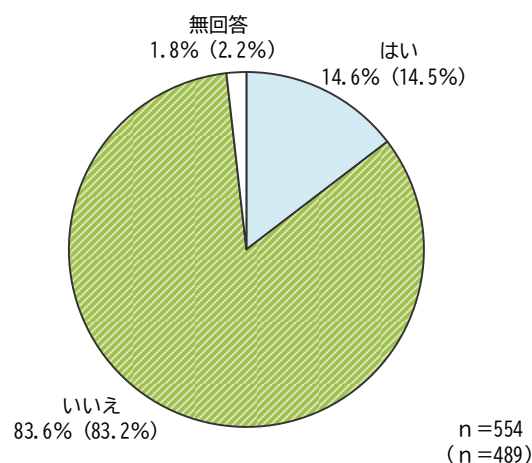
自転車の利用頻度を聞いたところ、「全く利用しない」(48.3%)が4割後半で最も高く、次いで「利用する(週5日以上)」(16.3%)、「利用する(月に数回)」(13.3%)となっている。

「利用する(週5日以上)」(16.3%)、「利用する(週3～4日)」(9.0%)、「利用する(週1～2日)」(11.5%)を合わせた「週1日以上」(36.8%)は3割半ばとなっている。



(2) ヘルメットの着用状況(自転車利用者のみ)

自転車を『利用する』(「利用する(週5日以上)」～「利用する(月に数回)」)と回答した方のヘルメットの着用状況は、「いいえ」(83.6%)が8割前半、「はい」(14.6%)が1割半ばとなっている。

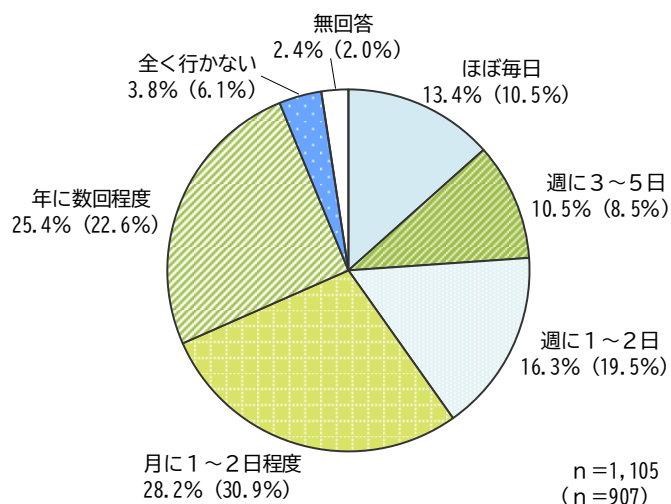


12 中野駅周辺について

(1) 中野駅周辺に行く頻度

中野駅周辺に行く頻度を聞いたところ、「月に1～2日程度」(28.2%)が2割後半で最も高く、次いで「年に数回程度」(25.4%)、「週に1～2日」(16.3%)となっている。

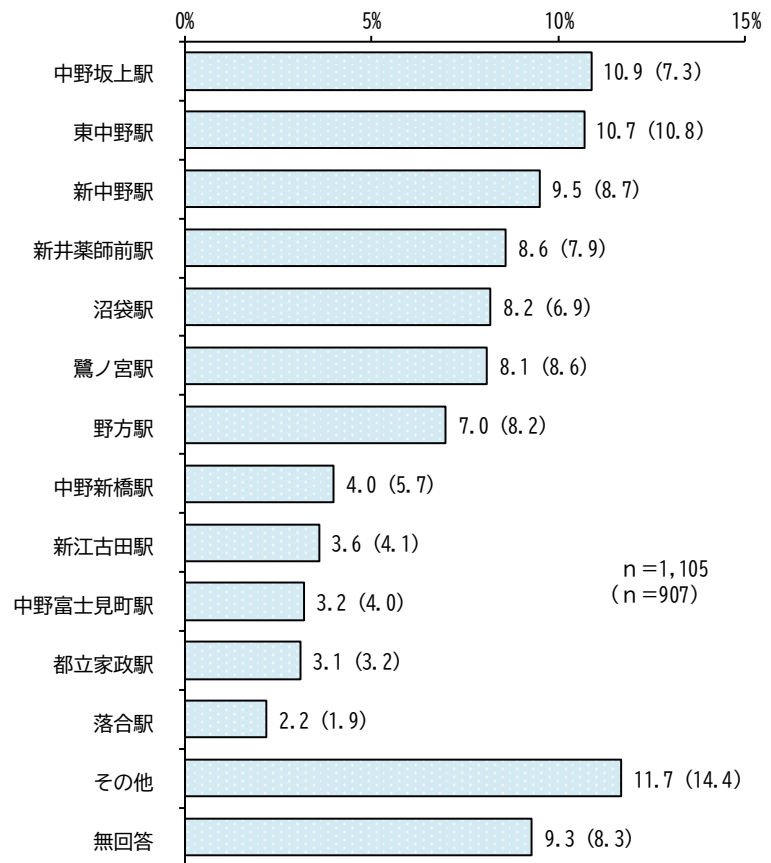
「ほぼ毎日」(13.4%)、「週に3～5日」(10.5%)、「週に1～2日」(16.3%)を合わせた「週1日以上」(40.2%)は約4割となっている。



13 中野駅周辺以外の鉄道駅（駅周辺）について

（１）最も利用する鉄道駅（駅周辺）

中野駅以外の日常で最も利用する鉄道駅（駅周辺）を聞いたところ、「中野坂上駅」(10.9%)が約１割で最も高く、次いで「東中野駅」(10.7%)、「新中野駅」(9.5%)、「新井薬師前駅」(8.6%)となっている。

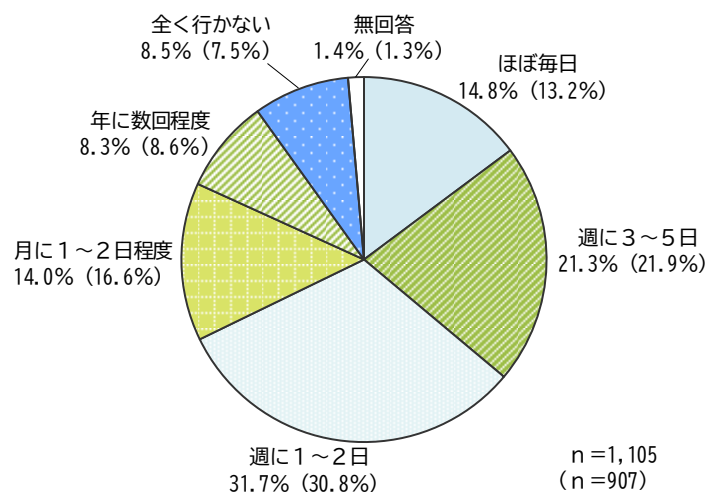


14 商店街について

（１）商店街に行く頻度

商店街へ行く頻度を聞いたところ、「週に1～2日」(31.7%)が約３割で最も高く、次いで「週に3～5日」(21.3%)、「ほぼ毎日」(14.8%)となっている。

「ほぼ毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」を合わせた「週1日以上」(67.8%)は6割後半となっている。

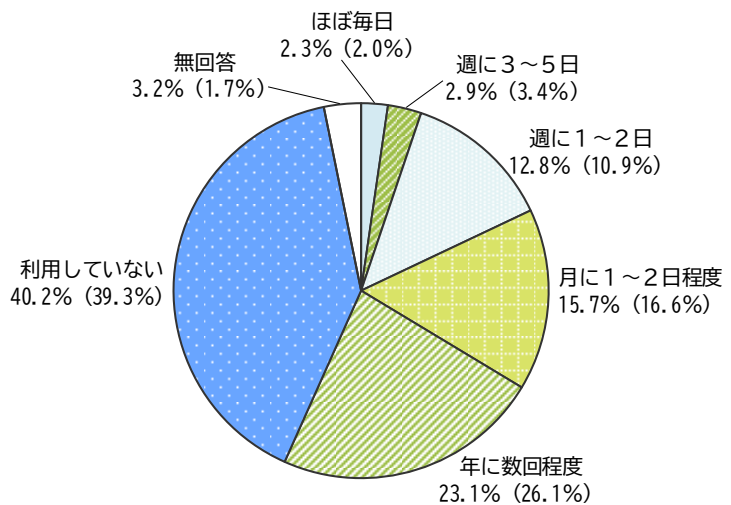


15 公園・広場等の利用について

(1) 区内の公園・広場の利用頻度

公園や広場の利用頻度を聞いたところ、「利用していない」(40.2%)が約4割と最も高く、次いで「年に数回程度」(23.1%)、「月に1～2日程度」(15.7%)となっている。

「ほぼ毎日」(2.3%)、「週に3～5日」(2.9%)、「週に1～2日」(12.8%)を合わせた「週1日以上利用あり」(18.0%)は1割後半となっている。

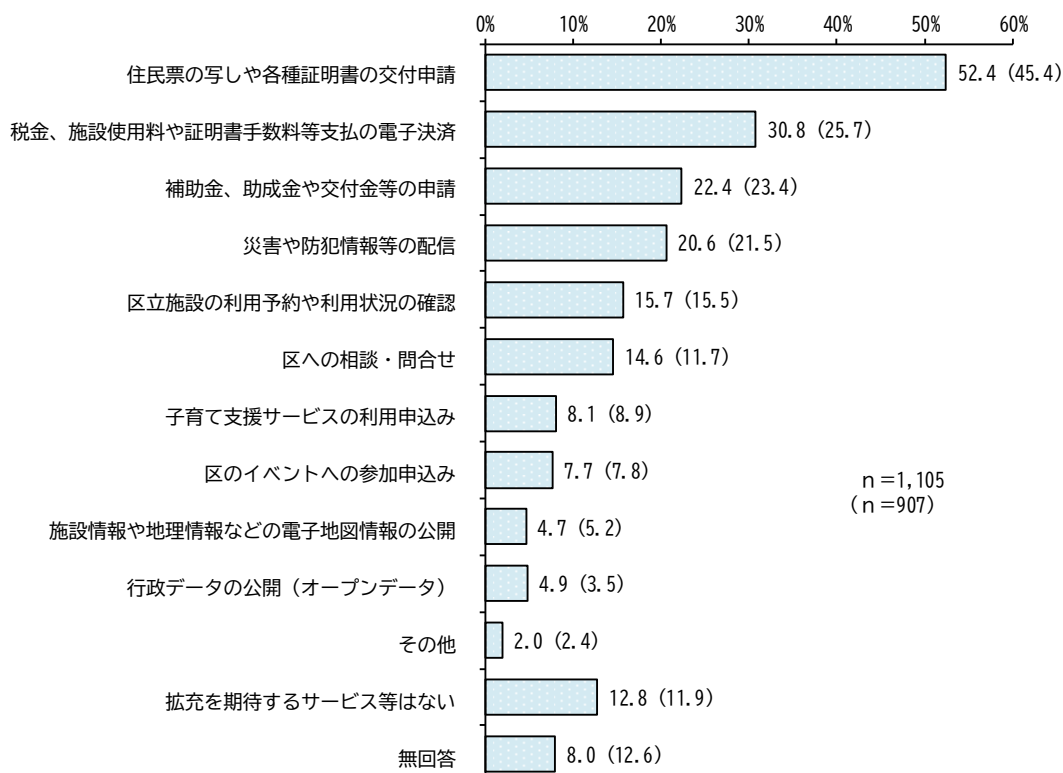


n=1,105
(n=907)

16 区のサービスの電子化について

(1) 電子化の拡充を期待する区のサービス等

電子化の拡充を期待する区のサービス等(3つまで回答)を聞いたところ、「住民票の写しや各種証明書の交付申請」(52.4%)が5割前半で最も高く、次いで「税金、施設使用料や証明書手数料等支払の電子決済」(30.8%)、「補助金、助成金や交付金等の申請」(22.4%)、「災害や防犯情報等の配信」(20.6%)となっている。

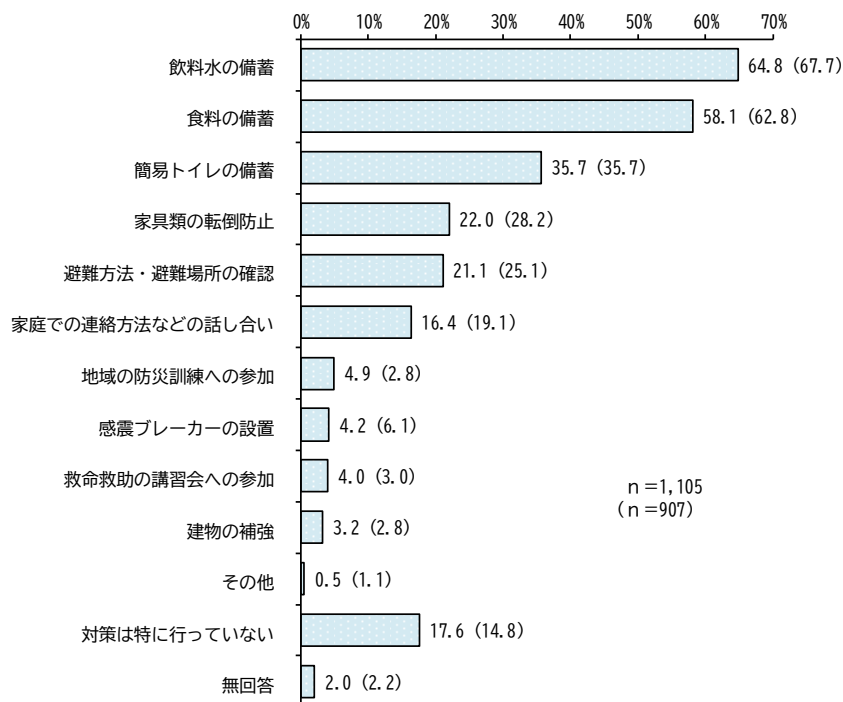


n=1,105
(n=907)

17 地震災害への対策について

(1) 家庭での備え

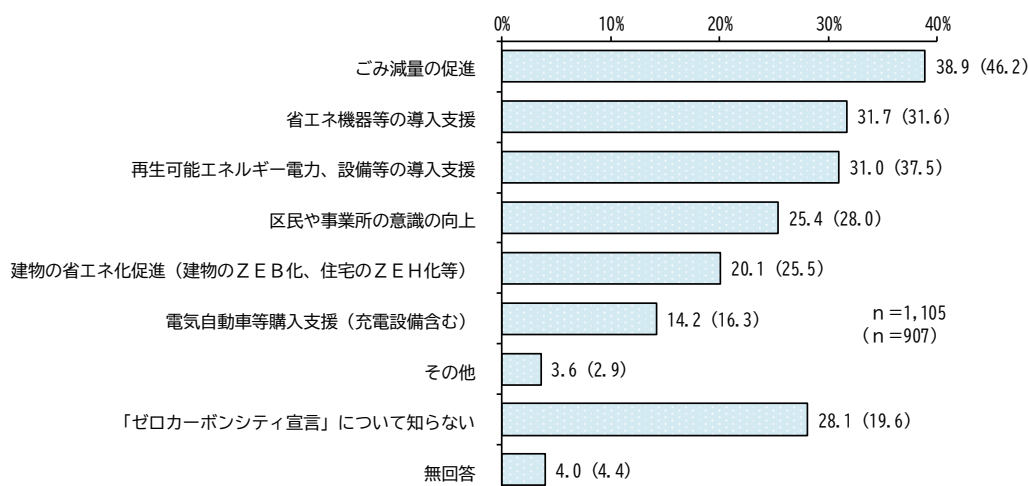
地震災害に備えて家庭内で行っている対策（複数回答）を聞いたところ、「飲料水の備蓄」（64.8%）が6割半ばで最も高く、次いで「食料の備蓄」（58.1%）、「簡易トイレの備蓄」（35.7%）、「家具類の転倒防止」（22.0%）となっている。



18 環境に関する理解・関心について

(1) ゼロカーボンに必要な対策

ゼロカーボンのために必要な対策（複数回答）を聞いたところ、「ごみ減量の促進」（38.9%）が3割後半で最も高く、次いで「省エネ機器等の導入支援」（31.7%）、「再生可能エネルギー電力、設備等の導入支援」（31.0%）となっている。「『ゼロカーボンシティ宣言』について知らない」（28.1%）は2割後半となっている。

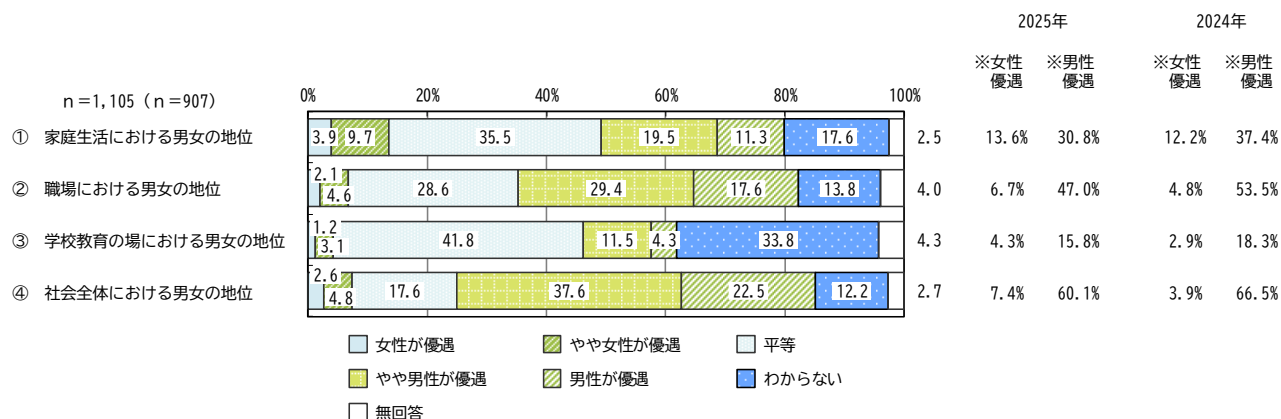


19 人権・男女共同参画について

(1) 男女の地位の平等感

4つの分野において、男女の地位は平等だと思うか聞いたところ、「平等」が最も高かったのは『③学校教育における男女の地位』(41.8%)であり、次いで『①家庭生活における男女の地位』(35.5%)、『②職場における男女の地位』(28.6%)、『④社会全体における男女の地位』(17.6%)となっている。

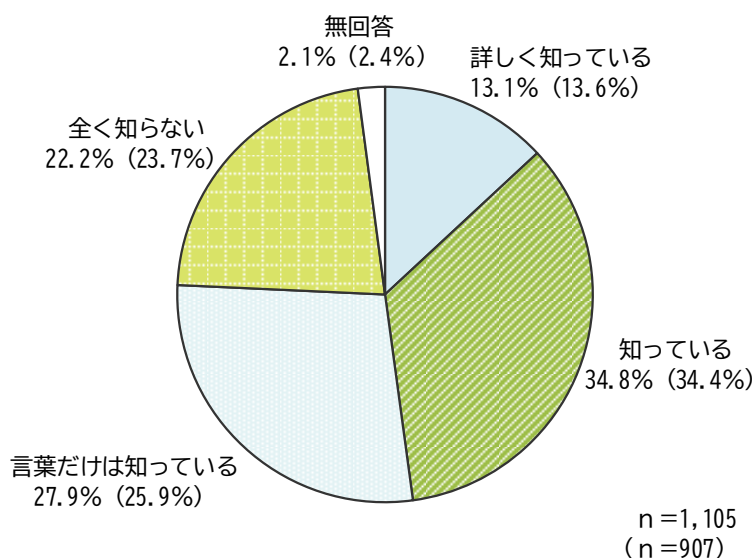
4つの分野はいずれも、「男性が優遇」と「やや男性が優遇」を合わせた《男性優遇》が、「女性が優遇」と「やや女性が優遇」を合わせた《女性優遇》を上回っている。『④社会全体における男女の地位』では、《男性優遇》(60.1%)と《女性優遇》(7.4%)の格差が52.7ポイントと最も大きくなっている。



20 ユニバーサルデザインについて

(1) 「ユニバーサルデザイン」の認知度

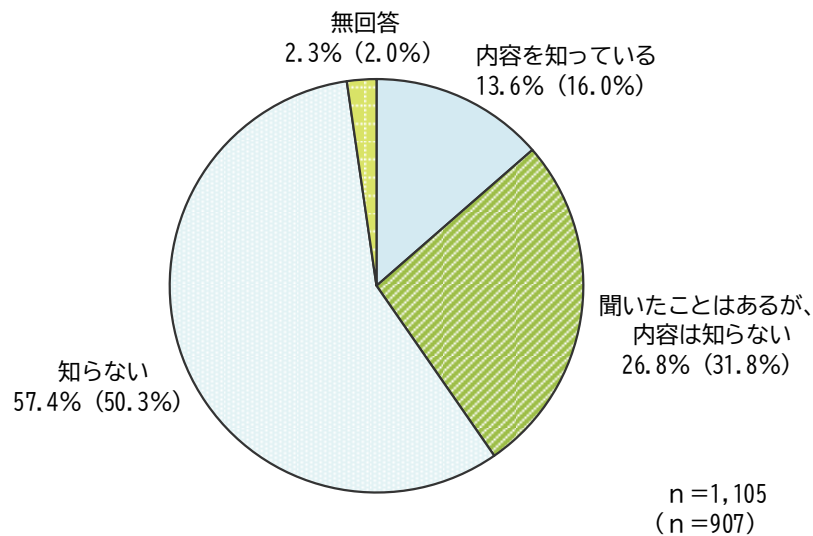
「ユニバーサルデザイン」の認知度を聞いたところ、「詳しく知っている」(13.1%)、「知っている」(34.8%)、「言葉だけは知っている」(27.9%)を合わせた《知っている》(75.8%)が7割半ば、「全く知らない」(22.2%)が2割前半となっている。



21 パートナーシップ宣誓について

(1) 中野区パートナーシップ宣誓の認知度

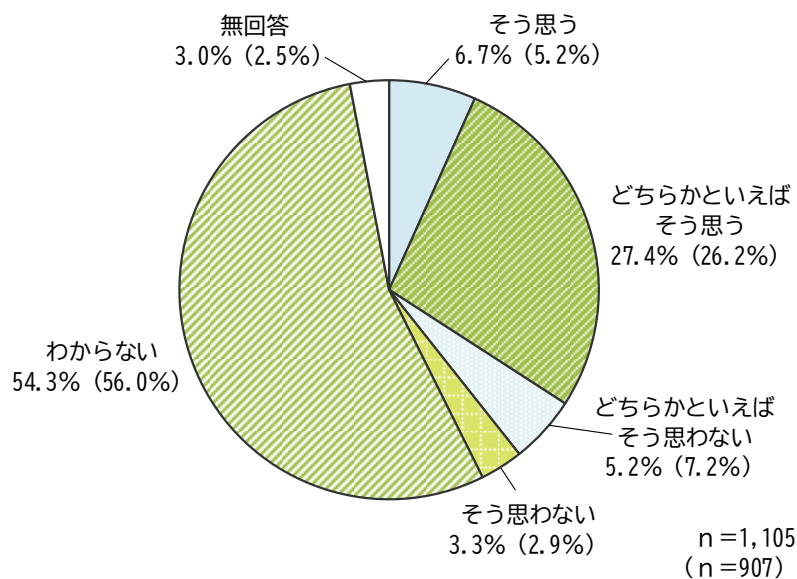
中野区パートナーシップ宣誓の認知度を聞いたところ、「知らない」(57.4%)が5割後半と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(26.8%)、「内容を知っている」(13.6%)となっている。



22 子どもの権利について

(1) 子どもの権利が守られているか

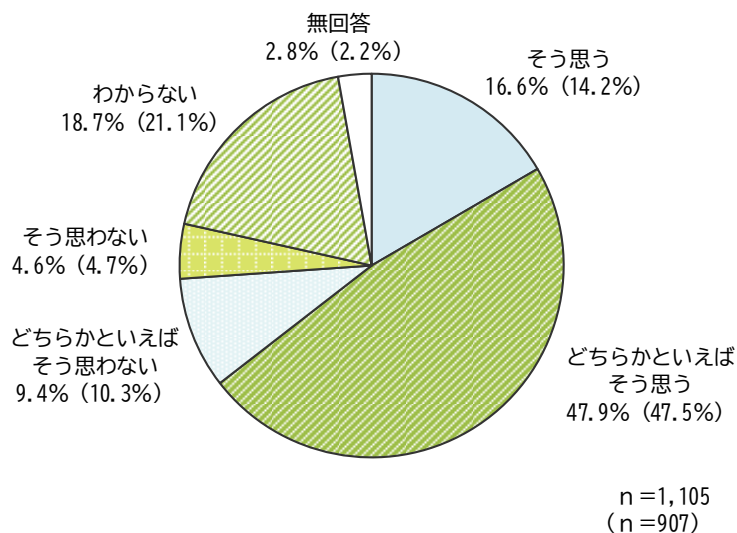
子どもの権利が守られていると思うか聞いたところ、「そう思う」(6.7%)と「どちらかといえばそう思う」(27.4%)を合わせた《そう思う》(34.1%)は3割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(5.2%)と「そう思わない」(3.3%)を合わせた《そう思わない》(8.5%)は1割未満となっている。



23 次世代に渡る定住意向について

(1) 次世代に渡る定住意向

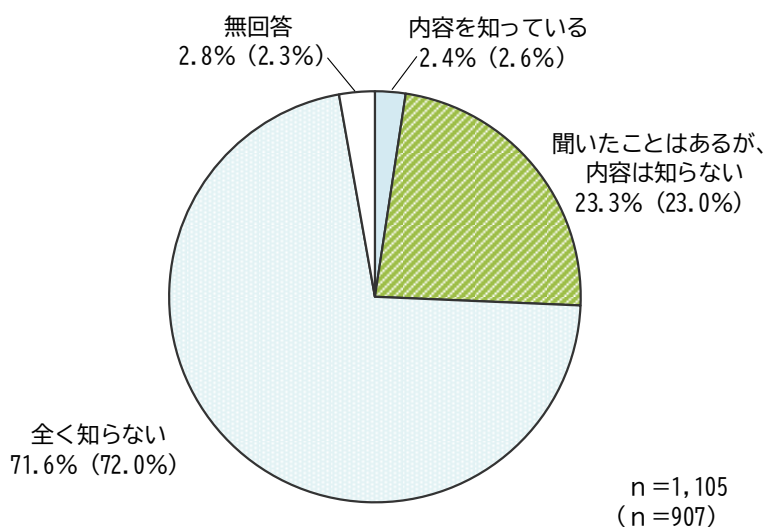
中野区のまちは次世代を担う子どもたちに住んでもらいたいまちだと思うかを聞いたところ、「思う」(16.6%)と「どちらかといえば思う」(47.9%)を合わせた《思う》(64.5%)は6割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.4%)と「そう思わない」(4.6%)を合わせた《そう思わない》(14.0%)は1割半ばとなっている。



24 基本構想について

(1) 中野区基本構想の認知度

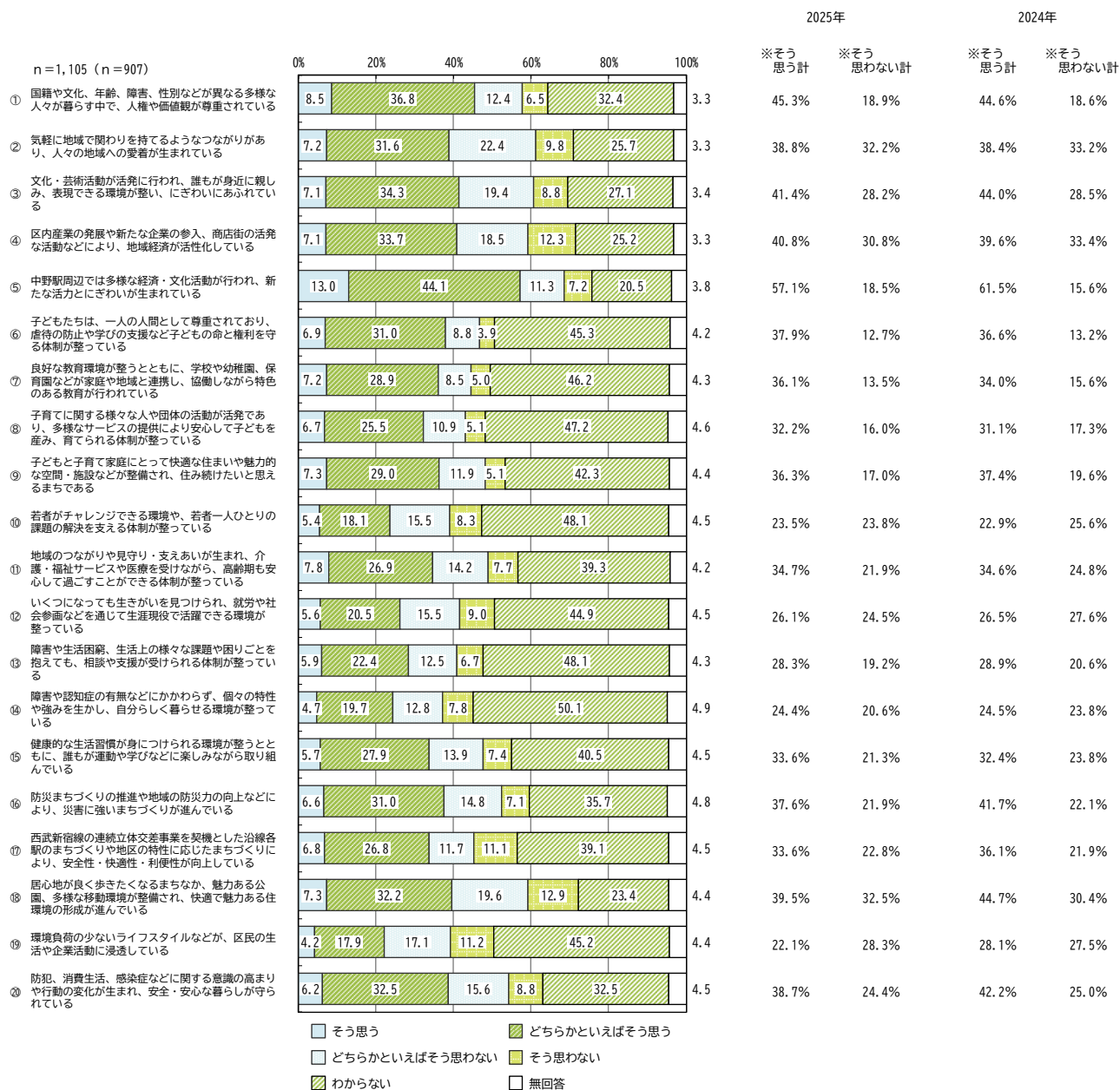
中野区基本構想の認知度を聞いたところ、「全く知らない」(71.6%)が約7割で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(23.3%)、「内容を知っている」(2.4%)となっている。



25 中野区のまちの姿について

(1) 中野区のまちの姿について

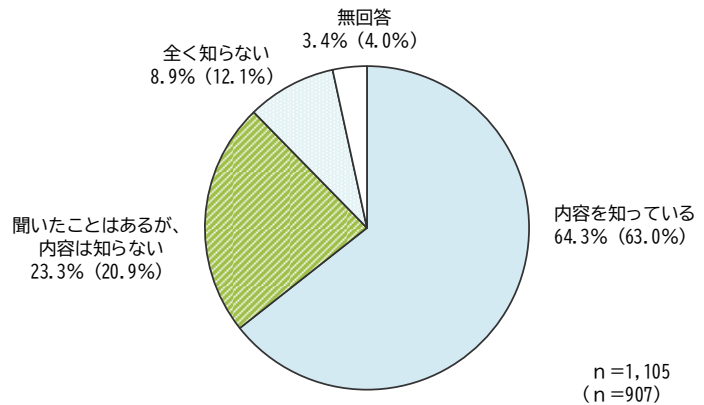
中野区のまちの姿について、「現在の中野区に対する、あなたの生活における実感」を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた《そう思う》は、『⑤中野駅周辺では多様な経済・文化活動が行われ、新たな活力とにぎわいが生まれている』(57.1%)で5割後半と最も高く、次いで『①国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている』(45.3%)、『③文化・芸術活動が活発に行われ、誰もが身近に親しみ、表現できる環境が整い、にぎわいにあふれている』(41.4%)、となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた《そう思わない》は、『⑩居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境が整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる』(32.5%)で3割前半と最も高く、次いで『②気軽に地域で関わりを持てるようなつながりがあり、人々の地域への愛着が生まれている』(32.2%)、『④区内産業の発展や新たな企業の参入、商店街の活発な活動などにより、地域経済が活性化している』(30.8%)、となっている。



26 SDGsについて

(1) SDGsの認知度

SDGsの認知度を聞いたところ、「内容を知っている」(64.3%)が6割半ばで最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」(23.3%)、「全く知らない」(8.9%)となっている。

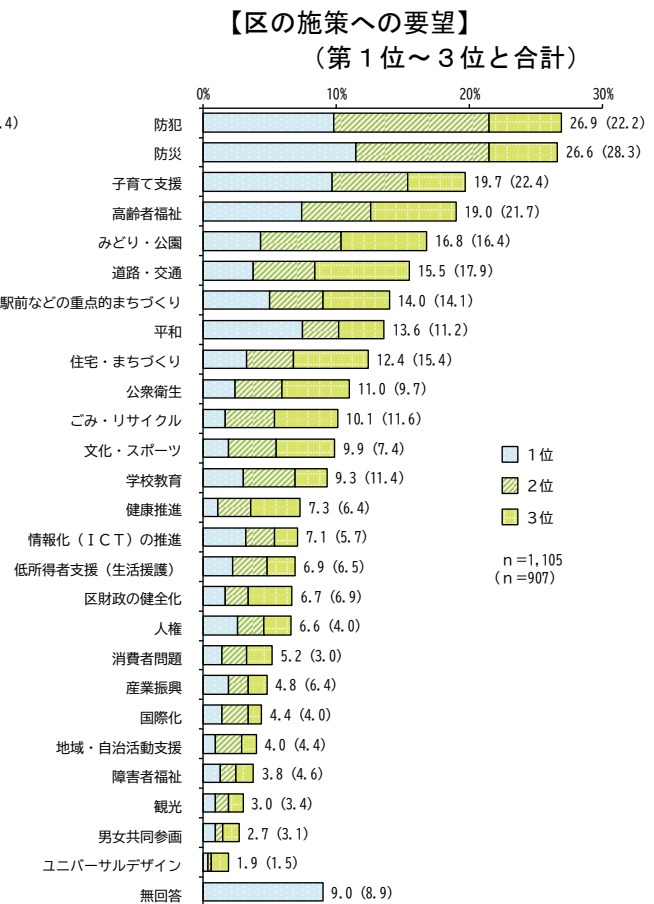
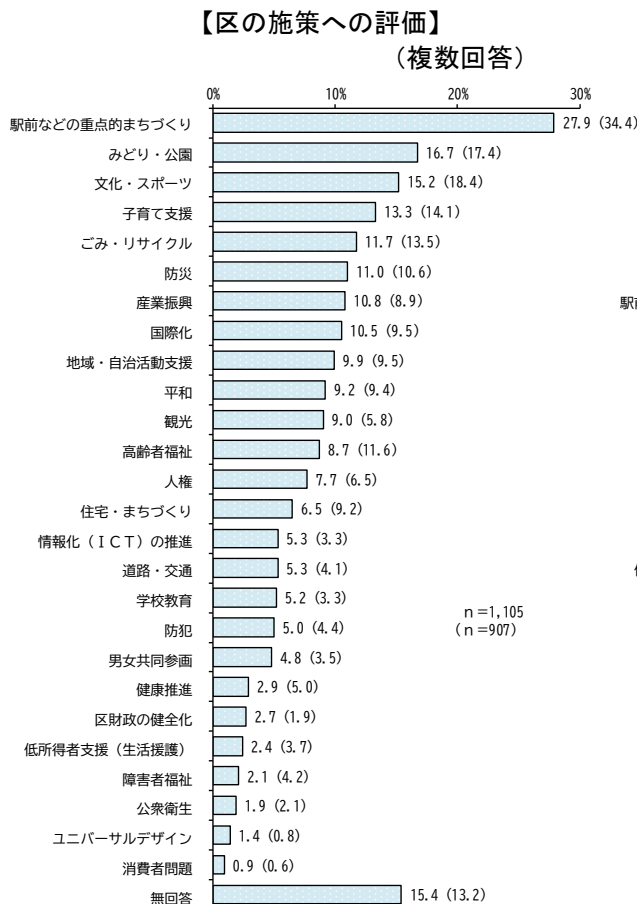


27 施策への評価・要望について

(1) 区の施策への評価と要望

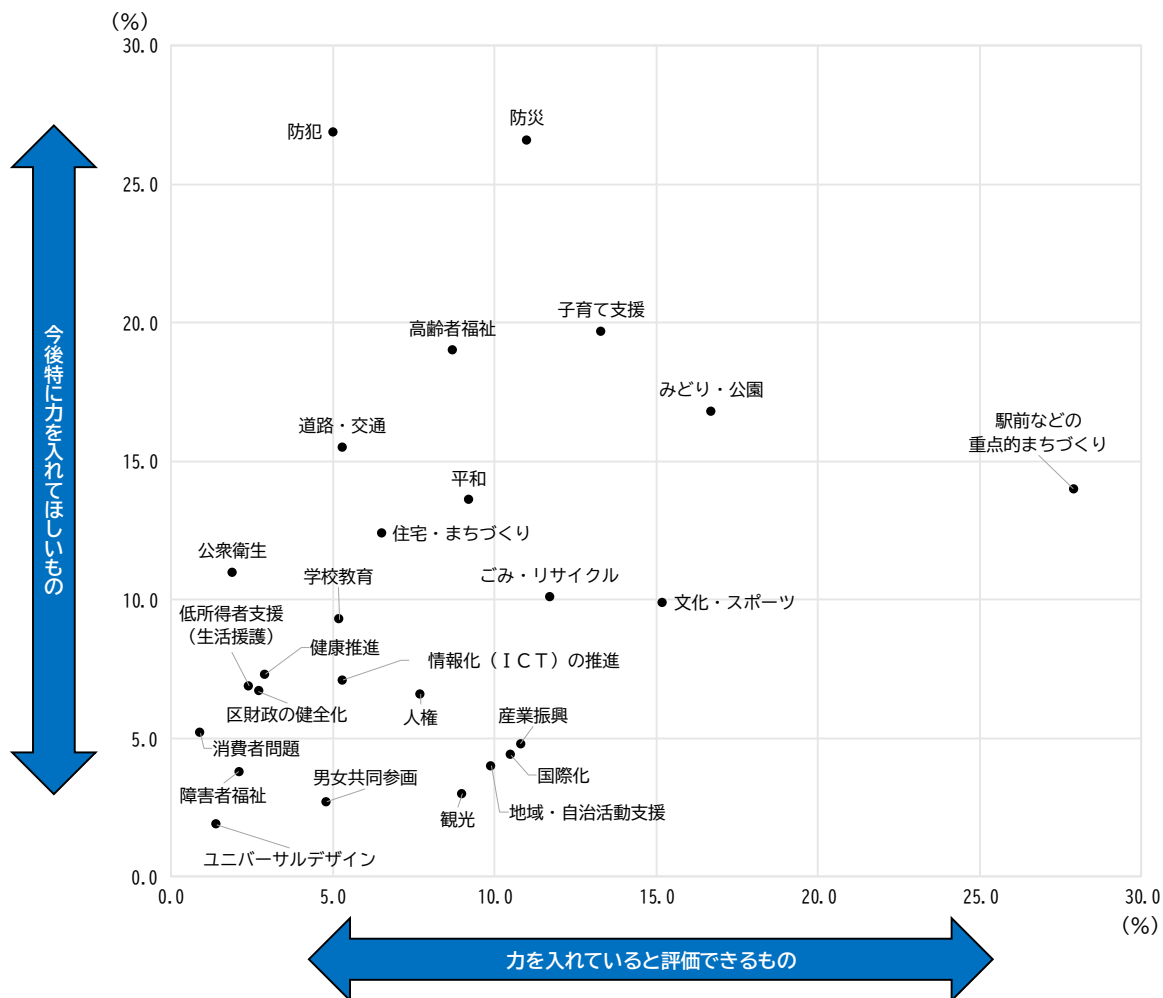
区が特に力を入れていると評価できる施策(3つまで回答)を聞いたところ、「駅前などの重点的まちづくり」(27.9%)が2割後半で最も高く、次いで「みどり・公園」(16.7%)、「文化・スポーツ」(15.2%)となっている。

今後特に力を入れてほしい施策について第1位から第3位までの順位を聞いたところ、合計では「防犯」(26.9%)が2割半ばで最も高く、次いで「防災」(26.6%)、「子育て支援」(19.7%)、「高齢者福祉」(19.0%)となっている。



(2) 区の施策への評価と要望 散布図

区の施策への評価と要望の関係をみるために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、26 項目の位置をあらわしたのが下の図である。この図では、左下に位置するほど「評価」も「要望」も低い施策であることを、反対に図の右上に位置するほど「評価」も「要望」も高い施策であることを意味している。さらに、左上に位置するほど、「評価」は低い「要望」が高い施策であることを、反対に右下に位置するほど「評価」は高い「要望」が低いことを意味している。



(3) 区の施策への要望（順位の変化）

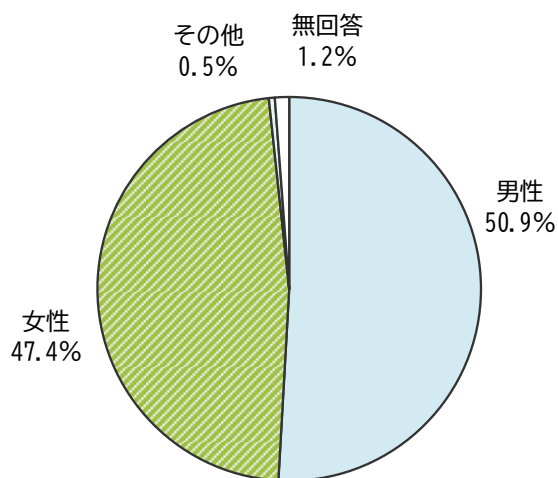
過去9年間および今回の施策要望の上位 10 位までの推移をみると、「防犯」は今回初めて第1位となっている。また、「防災」、「子育て支援」、「高齢者福祉」は2016年以降、一貫して上位に位置している。

* 上段は施策、下段は回答割合（％）
* 同率（％）の場合は、同順位である。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
2016	防災	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
(n=1,228)	27.8	22.5	22.4	21.2	17	15.9	14.3	13.3	11.1	11
2017	防災	高齢者福祉	子育て支援	みどり・公園	防犯	道路・交通	住宅・まちづくり	学校教育	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル/区財政の健全化
(n=1,167)	24.7	23.1	21.2	18.6	17.5	17.3	16.4	13.1	12.3	9.8
2018	防災	高齢者福祉	子育て支援	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	学校教育
(n=1,145)	28.1	26.6	21.1	18.2	17.9	15.1	14.7	14	11.8	10.1
2019	防災	子育て支援	高齢者福祉	道路・交通	防犯	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	学校教育	区財政の健全化
(n=1,060)	23.4	20.9	20.8	18.5	17.7	16.7	13.1	10.8	10.7	10
2020	防災	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	子育て支援	防犯	駅前などの重点的まちづくり	住宅・まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
(n=1,148)	20.6	19.8	19.3	19.2	18.9	18.1	16.4	13.7	11.8	10.1
2021	防災	道路・交通	みどり・公園	防犯	高齢者福祉	子育て支援	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	区財政の健全化	公衆衛生
(n=1,084)	23.5	21.8	20.3	19.8	19.5	16.9	13.8	11.7	11.1	11
2022	高齢者福祉	防災	道路・交通	子育て支援	みどり・公園	防犯	住宅・まちづくり	学校教育	ごみ・リサイクル 駅前などの重点的まちづくり	
(n=1,016)	24.4	21.8	18.9	17	16.8	15.6	14.7	10.8	10.1	
2023	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	防災	防犯	学校教育	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル
(n=872)	24	21.6	20.2	19.3	18.9	17.1	13.4	13.2	11.6	10.2
2024	防災	子育て支援	防犯	高齢者福祉	道路・交通	みどり・公園	住宅・まちづくり	駅前などの重点的まちづくり	ごみ・リサイクル	学校教育
(n=907)	28.3	22.4	22.2	21.7	17.9	16.4	15.4	14.1	11.6	11.4
2025	防犯	防災	子育て支援	高齢者福祉	みどり・公園	道路・交通	駅前などの重点的まちづくり	平和	住宅・まちづくり	公衆衛生
(n=1,105)	26.9	26.6	19.7	19.0	16.8	15.5	14.0	13.6	12.4	11.0

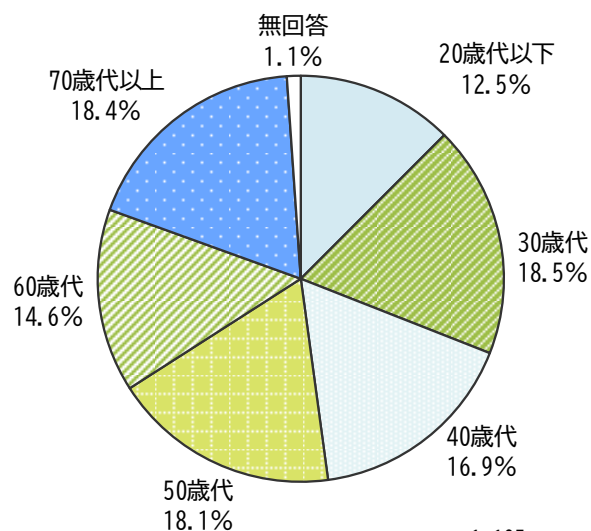
回答者属性

性別



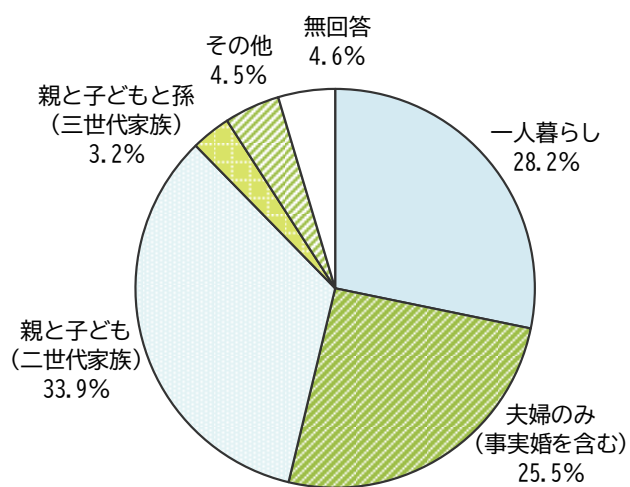
n = 1, 105

年代



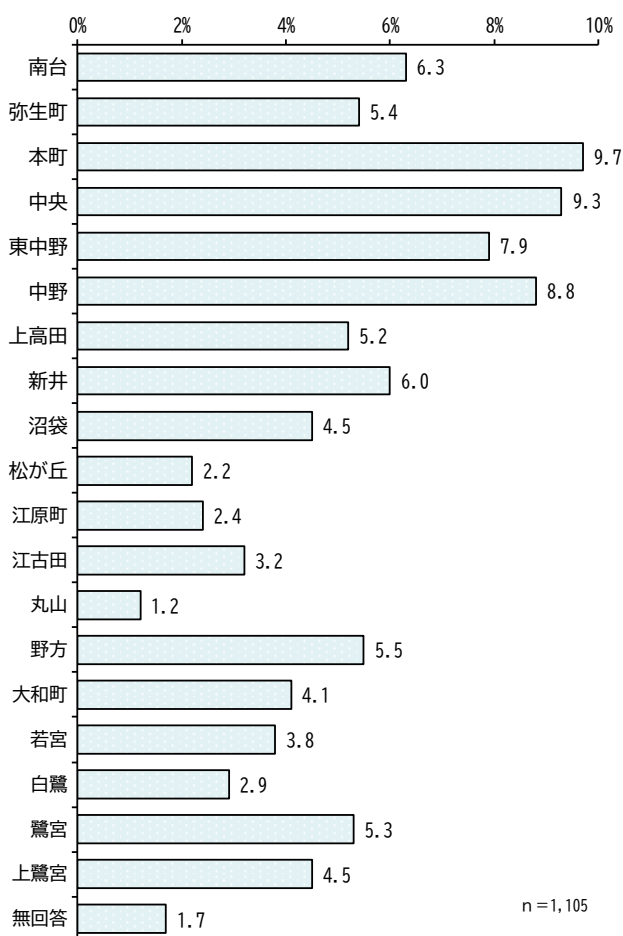
n = 1, 105

同居家族構成



n = 1, 105

居住地域



n = 1, 105

2025 中野区区民意識・実態調査報告書
令和8年1月発行 文書番号 07 中総総第 673 号
発行：中野区総務部総務課統計係
東京都中野区中野4-11-19
電話 03-3228-8892（直通）

報告書全文は区ホームページに掲載しております。
以下の二次元コードまたはURLからご覧になれます。

<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/kusei/toukei-cyousa/ishikicyosa/2025chousa.html>

